

日医の70周年式典・医学大会開かれる

日本医師会設立70周年にあたる11月1日、東京都文京区の日本医師会館で70周年記念式典と医学大会が行われました。開会に当たり横倉義武会長は「（この70年間）わが国は目覚ましい医療の発展の成果を享受し、世界最高レベルの長寿国となっている。これは諸先輩方が長年にわたって築いてこられた献身的な地域医療活動によるもの」とあいさつしました。日医最高優功賞、優功賞、医学賞などの受賞者の表彰と医学賞受賞者の講演がありました。当日は日医関係者、都道府県医師会関係者ら、300人以上が出席しました。



(<https://s3-ap-northeast-1.amazonaws.com/medpeer-news/1703.jpg>)

各賞の表彰が行われた日医70周年式典＝11月1日、日医会館

最高優功賞ほか、95氏・団体に

医学賞受賞者の講演は「骨免疫学による自己免疫疾患および骨関節疾患の研究」（東京大学大学院・高柳広氏）、「未病と予防の遺伝環境医学に関する研究」（京都大学大学院・小泉昭夫氏）、「糖尿病病態の分子生物学的解析と新規糖尿病治療法開発への応用」（熊本大学大学院・荒木栄一氏）をテーマに行われました。

各賞の受賞者は次の通りです（敬称略）。

【日本医師会最高優功賞】

在任6年都道府県医師会会長

嘉数研二（宮城）、近藤邦夫（石川）、関隆教（長野）、柵木充明（愛知）、寺下浩彰（和歌山）、平松恵一（広島）、岡林弘毅（高知）、近藤稔（大分）

医学、医術の研究または地域における医療活動により、医学、医療の発展または社会福祉の向上に貢献し、特に功績顕著なる功労者

石巻市医師会（宮城）、田村瑞穂（青森）、寺澤捷年（福島）、箕輪真一（群馬）、向山秀樹（神奈川）、加藤寿彦（愛知）、武藤康正（三重）、菊池英彰（兵庫）、坂口守彦（奈良）、寺岡暉（広島）、島本政明（高知）、田崎考（佐賀）、森正孝（長崎）、竹元隆洋（鹿児島）、國吉勲（沖縄）

会長特別表彰者

跡見裕（東京）、西島英利（福岡）

【日本医師会優功賞】

在任10年医師会代議員

橋本省（宮城）、真鍋勉（東京）、澤井博司（神奈川）、刑部利雄（山梨）、秋田光彦（大阪）、山田晃久（大阪）、空地顕一（兵庫）、大澤英一（奈良）、田村公之（和歌山）、魚谷純（鳥取）、石川紘（岡山）、檜谷義美（広島）、濱本史明（山口）、下河邊智久（福岡）、福島敬祐（熊本）、松岡幸一郎（大分）

在任10年日本医師会委員会委員

橋本洋一（北海道）、深澤雅則（北海道）、高橋克子（宮城）、登米祐也（宮城）、工藤行夫（千葉）、有賀徹（東京）、猪口正孝（東京）、金生由紀子（東京）、川原貴（東京）、権丈善一（東京）、坂本哲也（東京）、神馬征峰（東京）、永池京子（東京）、中嶋義文（東京）、古井滋（東京）、村田真一（東京）、吉川徹（神奈川）、神野正博（石川）、関健（長野）、田内美津子（静岡）、小栗貴美子（愛知）、松尾清一（愛知）、松井道宣（京都）、中村安秀（大阪）、鈴木克司（兵庫）、菅波茂（岡山）、木下成三（徳島）、大木實（福岡）、釣船崇仁（長崎）、森崎正幸（長崎）、山本太郎（長崎）、坂本不出夫（熊本）、藤本保（大分）、吉田建世（宮崎）

都道府県医師会会長退任者

古谷正博（神奈川）、小村明弘（島根）

【日本医師会医学賞】

高柳広（東京大学大学院）、小泉昭夫（京都大学大学院）、荒木栄一（熊本大学大学院）

【日本医師会医学研究奨励賞】

澤新一郎（北海道大学遺伝子病制御研究所）、武田憲文（東京大学医学部附属病院）、伊沢久未（順天堂大学大学院アトピー疾患研究センター）、金澤雅人（新潟大学脳研究所）、中田慎一郎（大阪大学高等共創研究院・大学院）、小野寺智洋（北海道大学病院）、藤原武男（東京医科歯科大学）、辻真弓（産業医科大学）、佐藤和秀（名古屋大学高等研究院・大学院）、宮崎泰可（長崎大学大学院）、山本卓（新潟大学医学部総合病院）、千葉斉一（東京医科大学八王子医療センター）、田代泰隆（労働者健康安全機構九州労災病院）、廣田泰（東京大学医学部附属病院）、日向信之（神戸大学大学院）